

1. 沖縄県内の地域および院内がん登録の実施状況を公開する。

目 標：2011年9月までに、専門的ながん診療を行っていると思われる25施設に院内がん登録の実施調査を行う。

実 績：2011年9月に、25施設に対して院内がん登録実施調査を行い、沖縄県の院内がん登録の実施状況を把握した。2011年9月現在、専門的ながん診療を行っている施設では25施設中17施設、その他の施設では4施設で院内がん登録を実施している。またその結果を沖縄県がん診療連携協議会ホームページに公開した。



予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：10点

次年度：院内がん登録の実施状況を引き続き協議会のホームページで更新する。

2. 地域および院内がん登録を始めるにあたっての説明会を開催する。

目 標：2012年3月までに、すでに地域および院内がん登録を実施している施設をのぞく、専門的ながん診療を行っていると思われる施設（25施設）すべてで説明会を終了する。

（対象7施設）

実 績：7施設すべてに「地域および院内がん登録を始めるにあたっての説明会」の案内を行った。しかし、施設の都合で説明会は実施出来ていない状況である。

＜これまで地域および院内がん登録を始めるにあたっての説明会を実施した施設＞

- 1) 沖縄第一病院 2) 沖縄セントラル病院 3) 沖縄県立南部医療センターこども医療センター 4) 沖縄県立北部病院 5) 沖縄県立八重山病院 6) 沖縄県立宮古病院
- 7) 与那原中央病院 8) 大浜第一病院 9) 沖縄協同病院 10) 沖縄病院

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：1点

次年度：施設として院内がん登録は実施していないが、職員は国立がん研究センターが主催する「院内がん登録初級者研修」などを受講しており、院内がん登録を始めるための方法などは把握している様子である。今後は、確実に院内がん登録が開始できるよう、説明会ではなく、専用ソフトのインストール方法や実際の入力方法などの「院内がん登録実務支援」を予定している。また、院内がん登録がどのように行われているのか要望があれば、各拠点病院で見学会も実施する予定である。

3. 地域および院内がん登録の実施を義務化する。

目 標：2012年3月までに沖縄県でがん条例が成立される。

実 績：がん登録部会の増田委員により院内がん登録の義務化に関することが条例に含まれるよう働きかけている途中である。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：3点

4. がん登録部会の活動を学会等で報告する。

目 標：毎年演題を出し、部会委員が発表する。

実 績：1) 日本診療情報管理学会学術大会

開 催 日：平成23年9月29日～平成23年9月30日

会 場：福岡国際会議場

演題) 沖縄県におけるがん診療連携拠点病院の院内がん登録データの比較分析

那覇市立病院 平安政子

演題) 沖縄県地域がん登録届出数上昇に対する沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会の4つの施策の影響について

琉球大学医学部附属病院 仲本奈々

演題) 沖縄県における院内がん登録の精度向上のために行った院内がん登録研修会の評価

沖縄県立中部病院 比嘉初枝

演題) 沖縄県における院内および地域がん登録の推進のための取り組みとその効果の検討

中部徳洲会病院 安里邦子

2) 沖縄県公衆衛生学会

開 催 日：平成23年11月11日

会 場：沖縄県市町村自治会館

演題) 全国がん診療連携拠点病院の院内がん登録データによる沖縄県拠点病院の分析・施設間比較

琉球大学医学部附属病院 福地美里

予 算：270,600 琉大予算額：90,200 琉大執行額：195,160

評 価：10点

次年度：がん登録部会のこれまでの学会活動および実績を論文化する予定である。

5. 地域がん登録情報の定期開示の方法を改定する。

目 標：2012年3月までに、それぞれが希望する形で登録情報が公開される。その情報がちくじ医療機関・行政・市民に届く。

実 績：協議未実施

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：1点

次年度：地域がん登録情報の定期開示の時期や内容について、沖縄県地域がん登録担当者共同でがん登録部会案を作成し、議長名で沖縄県に要望書を提出する予定である。

6. 生存率（疾患別、施設別）の計測を行い、結果を公開する。

目 標：2013年3月までに生存率（疾患別、施設別）の計測を行い、公開する。

実 績：他県で行っている予後調査方法を情報収集し、各施設で予後調査方法を検討・実施中。

<琉球大学医学部附属病院>

国立がん研究センターが代行する予後調査支援事業に参加。現在、調査対象症例を国立がん研究センターに提供し、調査結果待ちである。

<那覇市立病院>

独自で市町村照会や施設照会を実施中である。

<沖縄県立中部病院>

独自で地域がん登録照会、紹介先医療機関照会、患者家族照会を実施中である。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：3点

次年度：沖縄県全体で予後調査方法を統一できるよう検討していく。その後、生存率の計測・公開と進めていく。

7. 沖縄県内でがん登録研修会を企画・開催する。

目 標：年に4回開催し、200名の実務者が参加する。

実 績：今年度の研修会の日程は、5月21日（土）、7月30日（土）、11月12日（土）、3月10日（土）である。平成23年度第1回がん登録研修会（5月21日）では、浦添総合病院の蔵下要先生をお招きし、乳がんについて講演して頂いた。第2回がん登録研修会（7月30日）は、国立がん研究センターがん登録室長の西本 寛先生をお招きし院内がん登録に関する最新情報と肺がん、肝がんについて講演して頂いた。第3回がん登録研修会（11月12日）は、子宮頸がん・子宮体がんについて沖縄県立中部病院産婦人科医長の三浦耕子先生に講演して頂いた。それぞれ52名、83名、67名が参加し好評を得た。（参加総数202名）

予 算：843,200 琉大予算額：386,000 琉大執行額：190,490

評 価：10点

次年度：引き続き研修会を継続し、研修会の評価を行う。

8. 国立がん研究センターの実務者研修に参加する。

目 標：2012年3月までに、拠点病院で中級者と指導者が、支援病院で初級者が誕生する。

実 績：平成23年12月に院内がん登録指導者1名修了（琉大病院 仲本奈々）

現在沖縄県で、指導者研修は4名、中級者研修は沖縄で4名が修了した。支援病院の初級者研修修了者は北部地区医師会病院で2名（照屋 勝、宮里 貴子）、沖縄県立宮古病院で1名（戸倉さおり）、沖縄県立八重山病院で1名（浜口絹代）が終了した。

予 算：600,600 琉大予算額：151,400 琉大執行額：168,940

評 価：10点

次年度：引き続き継続する。

9. 厚生労働省科学研究（第三次対がん総合戦略研究）「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班（主任研究員西本寛）の Collaborative staging の研究に協力する。

実 績：平成23年10月3日に沖縄の Collaborative staging 事業に関しての会議に参加し、研究概要の確認を行った。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：2点

次年度：平成24年2月に送付される研究班からの依頼と研究計画書を確認後、各施設の手続きを進めていく予定。

10. 厚生労働省がん臨床研究「医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究」班（主任研究員祖父江友孝）の QI 研究に協力する。

実 績：平成23年7月から各施設で大腸癌と胃癌についてQIの採録を開始した。12月までに終了し、現在研究班で結果を収集中である。

予 算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評 価：8点

次年度：引き続き継続する。

平成23年度5回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

- 日 時 : 平成23年11月15日(火) 15:00~18:30
- 場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
- 出席者 : 5名
平安政子(那覇市立病院)、比嘉初枝(県立中部病院)、安里邦子(中部徳洲会病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、福地美里(琉大病院がんセンター)
- 欠席者 : 阿波根彩子(沖縄県)、宮里貴子(北部地区医師会病院)、戸倉さおり(県立宮古病院)、浜口絹代(県立八重山病院)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

[報 告]

1. 平成23年度第4回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨(資料1)
平成23年度第4回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。
2. 第3回がん登録研修会に関するアンケートの集計結果について(資料2)
平成23年度がん登録研修会に関するアンケートの調査結果と参加者からの意見について資料2に基づき、がんセンター仲本から報告があった。また来年度から、UICC6からUICC7に変更になるため、今後のがん登録研修会の資料として国立がん研究センターへUICC7に関するスライドと資料について問い合わせを行うよう意見があがった。
3. 第43回沖縄県公衆衛生学会・大会報告(資料3)
第43回沖縄県公衆衛生学会・大会について、資料3に基づきがんセンター仲本から報告があった。
4. 院内がん登録拠点病院別集計(別紙1)
沖縄県がん診療連携拠点病院院内がん登録2008年集計報告書が新しくグラフを追加した事を別紙1に基づきがんセンター仲本から報告があった。

[協 議]

1. 平成23年度第4回がん登録研修会について(資料4)
今年度の第4回がん登録研修会について協議した。第4回のがん登録研修会は3月10日に那覇市立病院で開催することが承認された。第4回の研修テーマは前立腺がん、講師は琉球大学医学部附属病院の呉屋先生または町田先生に依頼することが承認された。
2. Q I 登録の進捗について
各施設のQ I 採録の進捗について報告があった。Q I のシステムで一部変更があったため、エラーとなってしまった症例については訂正することを周知した。また、Q I の大腸がんに関する症例が今後フィードバックされることが報告された。

3. Collaborative Staging の進捗について
Collaborative Staging の際に使用される FileMaker 11 の導入について報告があった。また HosCan-R が FileMaker 11 に対応できるよう各施設で対応するよう周知し、エラー等があれば各自メーリングで報告することとなった。
4. 講演会資料について
11月16日に行われる講演会で、沖縄県のがんの現状、がん登録部会での取り組みなどについて講演することとなり、講演会スライドと発表原稿について協議した。
5. 平成23年度がん登録部会委員一覧（資料8）
がん登録部会委員の連絡先一覧が確認された。
6. 次回の開催日程について
次回は2012年1月17日（火）15：00から開催することとなった。
7. その他
今年度から、院内がん登録データをインターネットでも提出することが可能となった。そのことを受け、研修会に参加した那覇市立病院の平安さんからインターネットでの提出方法について報告があった。提出する方法は2つあり、HosCan-R が導入されているパソコンからデータを CD-ROM に書き込み提出する方法、HosCan-R から個人識別情報を抜いたデータを、別のインターネットにつながったパソコンで提出する方法があるとの説明をうけた。今後、マニュアル等は国立がん研究センターから配布があるとのことだったが、インターネットでの提出ということもあり、セキュリティ面での協議を各施設で行うよう周知した。

- 日時 : 平成24年1月24日(火) 15:00~18:30
- 場所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
- 出席者 : 6名
平安政子(那覇市立病院)、比嘉初枝(県立中部病院)、安里邦子(中部徳洲会病院)、
宮里貴子(北部地区医師会病院)、仲本奈々(琉大病院がんセンター)、福地美里(琉
大病院がんセンター)
- 欠席者 : 阿波根彩子(沖縄県)、戸倉さおり(県立宮古病院)、浜口絹代(県立八重山病院)、
増田昌人(琉大病院がんセンター)

[報告]

- 平成23年度第5回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨(資料1)
平成23年度第5回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。
- 院内がん登録予後調査支援事業への参加について(資料2)
がんセンター仲本より、国立がん研究センターが代行する院内がん登録の予後調査支
援事業について資料2に基づき説明があった。現在、国立がん研究センターに対象デー
タを提出し、調査結果待ちであることが報告された。
- 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会について(別紙1)
がんセンター仲本より、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会につ
いて別紙1に基づき説明があった。Q Iの収集に関することが「がん登録部会設置要領
(案)」に入ったほか、沖縄県4病院(琉大病院、那覇市立病院、県立中部病院、中部徳
洲会病院)で Collaborative Staging の試験導入が行われることが報告された。今後部会
として Collaborative Staging について外部から問い合わせがある可能性を踏まえ対応
を検討していくこととなった。

[協議]

- 平成23年度第4回がん登録研修会について(資料3)
今年度の第4回がん登録研修会について協議した。第4回の研修テーマを前立腺がん
だけでなく、膀胱がんもテーマとして追加できるか、講師の琉球大学医学部附属病院の
呉屋先生に依頼することが承認された。また、U I C C第6版から7版に移行するに伴
い、病期分類や演習問題をU I C C 7版に合わせた解説を行うことが検討された。演習
問題の解答、解説については部会委員により行い、病期分類の講義については、講師の
琉球大学医学部附属病院の呉屋先生に依頼することとなった。
- がん登録部会の今年度事業計画と評価について(資料4)
がんセンター仲本より今年度のがん登録部会の事業計画と評価について報告があった。
項目2の地域がんおよび院内がん登録を始めるにあたっての説明会について、対象施設
が国立がん研究センター主催の「院内がん登録研修会」に参加していることもあり、導
入研修会の依頼が少なくなっていることが仲本より報告された。その件を踏まえ導入研
修会や説明会だけではなく、導入後の実務支援を充実させることが検討された。また那
覇市立病院平安から国立がん研究センターのように、院内がん登録実務の様子が見学で

きるよう見学会実施の案が出され、今後3拠点病院で見学会が行えるよう検討していくこととなった。今後、ゆいメールによるがん登録部会の活動内容や広報を行っていく事が承認された。

3. 各施設の予後調査方法について

予後調査について各施設から報告があった。那覇市立病院平安から、診断日が2001年～2005年の症例を対象に予後調査を行っていることが報告された。院内で把握できない患者の予後情報に関しては紹介先の施設に対して協力依頼を送り、また各市町村に調査依頼を行っていることが報告された。

県立中部病院比嘉から、膵がんと肝がんの予後調査を行い Kaplan-Meier 法による分析を行ったことが報告された。病期分類ごとの統計・分析も行ったが数が少ないため上手く結果が出なかったと報告があった。また地域がん登録に提出した院内がん登録に対しては生存期間の情報が依頼できることから、予後調査の情報収集に活用できるとの報告があった。

次年度は予後調査に関する業務量の調査や予後調査の参考マニュアルの作成（他施設からの照会の対応用）、市町村依頼の際に二重依頼になる問題について検討することとなった。

4. Q I 登録の進捗について

各施設の Q I 採録が終了したことが報告された。Q I 採録の際各施設の解釈の違いで混乱もありその結果がどのように反映されるのか、国立がん研究センターからの結果報告後、検証することとなった。

5. Collaborative Staging の進捗について

Collaborative Staging の際に使用される FileMaker 11 の導入について報告があった。那覇市立病院平安から Hos-CanR が FileMaker 11 に対応できずエラーがでるとの報告があり、一度琉大病院で検証を行い、検証結果をメーリングにて報告することとなった。また、2月2日に国立がん研究センターの西本先生、中村先生が Collaborative Staging のデモンストレーションで沖縄に来ることから、対象施設は参加するよう周知した。

6. 平成23年度がん登録部会委員一覧（資料5）

がん登録部会委員の連絡先一覧が確認された。

7. 次回の開催日程について

今回は2012年3月27日（火）15:00から開催することとなった。

8. その他

1. 活動内容の冊子化、論文化について

県立中部病院比嘉より、院内の活動をまとめた冊子が完成したとの報告を受けた。そのことを踏まえ、今後部会としても活動内容をまとめ冊子にしていけるよう次年度から検討することとなった。

2. 日本診療情報管理学会学術大会の演題について

日本診療情報管理学会学術大会の開催日程が早まるとの報告を受け、4月から演題の検討を行う事が承認された。演題として、Q I について各施設での取り組みと報告をすることや予後調査の調査方法について案が出された。

3. 共同指導について

県立中部病院比嘉より、共同指導の内容や様子について報告があった。